



あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

モユク★カムイ

☆モユク・カムイとはアイヌ語で
「エゾクヌキ」のことです。



ローランドゴリラ
Gorilla gorilla gorilla

NO.

28

APRIL
1992



表紙のことは

ゴリラ

オスのゴリラの背中は
もうりっぱなシルバーバック
どこから見ても貫禄十分だ
彼の横を通るたびに
なぜかベコリと頭を下げ
礼をしてしまう
子供の頃の学校の先生を
思いだして

巻もくじ

- 2 ほっと ひとPhot -
- 3 新・動物解析考 小倉百人一首の春
- 4.5 シリーズ「動物ってなんだろう？」
第5回「リス・ネズミ・ウサギの仲間」
その1 リス
- 6.7 旭山動物園 春のマップ
1992年版 赤ちゃんみつけた
- 8 最近の動物園事情
Vet News (動物病院から)
- 9 飼育研究レポート
- キリン児ユウタの成長 -
- 10 ゲンちゃんの追求コーナー
- フクロウはなぜ夜起きてるの -
クイズ
- 11 飼育日誌・お知らせ



新・どうぶつ解析考

百人一首

春といえば“桜”、花といえば“さくら”
桜を詠んだ歌は6首もあるが
旭山にぴったりなのは

高砂の 尾上の桜 さきにけり
外山のかすみ 立たずもあらなむ 前中納言匡房

旭山の向こうには 雪を冠った大雪山が 遠くそびえる

静かな動物園で、散る花に思いをよせるのもいい

ひさかたの 光のどけき 春の日に
しず心なく 花の散るらむ 紀 友則

残念ながら、春の動物が見あたらない
春といえば オタマジャクシ、サンショウウオ、ヒメギフチョウ、
カッコウ、ウグイス たくさんいるのだが……
ちなみに旭山動物園のアムールヒョウの子は“さくら”

第5回 「リス・ネズミ・ウサギの仲間」

今年は、小さなかわいらしいけものであるリスやネズミ、ウサギにスポットをあててみました。旭山動物園にもエゾリス、エゾユキウサギが飼育されていていつでも見ることができます。



その1

リス

●げっ歯目リス科

リスの仲間は、げっ歯目の動物としては、あまり特殊化してなく、いろいろな環境に適応できたので、オーストラリアと南極大陸をのぞいたすべての大陸に分布しています。

地中にトンネルを掘るマーモット類、シマリス類や、樹上にすむ昼行性のリス類、夜行性のムササビ類など、現生種は49属268種います。

日本には、台湾リス、ニホンリス、エゾリス、エゾシマリス、ホンシュウモモンガ、エゾモモンガ、ムササビの6種が生息しています。台湾リスは公園などで飼育していたものが逃げて野生化したものです。

北海道には、エゾリス、エゾシマリス、エゾモモンガの3種がいます。

北海道にすむ3種のリス

●エゾリス

昼行性だが早朝と夕方に活動する。樹上性だが地上にも降りる。木の実、芽、葉や昆虫、小鳥のヒナ、卵などをたべるが、クルミが大好物

●シマリス

地上性で土の中に直径4~5cmのトンネルを掘る。木の実、種子、きのこ、昆虫などをたべるがドングリが大好物で、クルミは苦手。

●モモンガ

夜行性で完全な樹上生活。木の葉、芽、実、種子が主食で昆虫や鳥の卵も食べる。



夏毛



冬毛

野生では、4月頃出産するエゾリスも、飼育下では5~6月に出産することが多く、中には8月になって出産するエゾリスもいます。生まれたばかりの子リスは毛がなく赤裸で目も開いていません

年度	子リスの頭数
'81	4 頭
'82	5 頭
'83	12 頭
'84	5 頭
'85	11 頭
'86	2 頭
'87	13 頭
'88	15 頭
'89	7 頭
'90	13 頭
'91	3 頭
合計	90 頭

旭山動物園ではエゾリスの飼育研究を行っており、昭和56年初めて繁殖に成功、毎年たくさんの子リスが生まれています。また、近親交配を防ぐため、他の動物園との交換や、保護された個体を利用するといった繁殖計画を立てています。旭山動物園の子リスたちは全国各地の動物園にもらわれています。

'82年	釧路市動物園	2 頭
'84年	おびひろ動物園	2 頭
'85年	川崎市夢見が崎動物園	6 頭
'86年	富山市ファミリーパーク	4 頭
	東京都恩賜上野動物園	2 頭
	秋田市大森山動物園	2 頭
'87年	ウェニックス動物園	6 頭
'88年	沖縄こどもの国	6 頭
'89年	岐阜金華山リス村	10 頭
'90年	札幌市円山動物園	6 頭
	秋田市大森山動物園	1 頭
'91年	旭川市神楽岡公園	3 頭

すみ分け

ある生態系の中で、同じような生活をする動物たちは、お互いに競争し、どちらかが優先種となり、ついには他を追い出してしまうようです。

北海道には、エゾリス、シマリス、モモンガの3種類のリスの仲間がいます。かれらは、体の大きさも似たようなもので、同じ林にすみ、しかも似たようなものを食べています。なぜでしょう。

かれらの生活を調べてみると、モモンガは夜行性ですので、朝と夕方に活動するエゾリスやシマリスとは顔を合わせません。また、エゾリスは主に木の上で活動し、シマリスは地面で生活するので、“なわばり”争いになりません。

行動する時間帯や空間をうまく分けあって生活しているのです。これを「すみ分け」といいます。

エゾリス

Sciurus vulgaris orientis

げっ歯目	リス科
分布	ユーラシア大陸北部に広く分布する、キタリスの一亜種で北海道に生息する。本州に分布するニホンリスとは別種である。
行動	昼行性で主に樹上で活動する。活動は朝と夕方。
食性	堅果(クルミ、ドングリなど)、木の芽、葉、果実、キノコ、昆虫。
寿命	野生では3~4年。飼育下では10年以上生きるものもいる。
繁殖	時期: 4~7月 妊娠期間: 約40日 産子数: 2~6頭
体格	体重: 250~300g 頭胴長: 22~27cm

●エゾリスは早起き

エゾリスは日の出とともに活動を開始しますが、行動時間は夏長く冬は短いです。特に真冬の寒い頃は午前中の数時間しか外へ出てきません。動物園のエゾリスも昼間は巣の中に入れて、あまり活動しているところを見ることができませんね。

●お母さんリスは大いそがし

春(4月の頃)、エゾリスは2~6頭の子を産みます。産まれたばかりの子リスは毛がなく赤裸で目も開いていません。10日くらいで毛が生え始め、お母さんリスにくわえられて、巣の外へ姿を見せるようになります。お母さんは頻りに赤ちゃんをくわえて巣の引越しをするので、とても忙しくなります。

